

「規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発事業」
終了時評価検討会（第1回）

議 事 要 旨

1. 日 時 2021年12月8日（水） 14:00～15:30

2. 実施方法 オンライン（Teams）

3. 出席者

（検討会委員）[敬称略・五十音順、※は座長]

青木 義男 日本大学 教授
※菊池 純一 青山学院大学 名誉教授
和辻 健二 日本自動車工業会 常務理事

（関係省庁）

国土交通省 自動車局 審査・リコール課
課長補佐（総括） 竹村 圭史
国土交通省 住宅局 建築指導課
建築設計環境適正化推進官 福井 武夫
課長補佐 池町 彰文

（研究開発実施者）

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 ロボット・AI 部
主幹 吉田 准一

（事務局）

経済産業政策局 産業創造課 新規事業創造推進室
室長 石井 芳明
室長補佐 中村 昌克
係長 大坪 篤史

（評価推進部署）

産業技術環境局 研究開発課 技術評価室
課長補佐 亀山 孝広
係長 浅野 常一

4. 議事概要

（1）開会

各委員の事前承諾のとおり菊池委員が座長に就任された旨、事務局から説明があった。

（2）研究開発評価に係る委員会等の公開について

事務局から、「資料2 研究開発評価に係る委員会等の公開について」により、評価検討会の公開について説明がなされた後、本評価検討会について、会議、配布資料、議事録及び議事要旨を公開とすることが了承された。

(3) 評価の方法等について

評価推進部署から「資料3 経済産業省における研究開発評価について」により、事務局から「資料4 評価方法(案)」、「資料5 評価コメント及び評点票」、「資料6 技術評価報告書の構成(案)」により、評価の方法等について説明がなされ、了承された。

(4) 事業の概要について

事務局、関係省庁及び研究開発実施者から、「資料7 評価用資料」、「資料8 補足説明資料」により、本事業の概要について説明がなされた。

主な質疑等は以下のとおり。

- ①「A. AIを活用した自動車の完成検査の精緻化・合理化に係る調査」、「B. 無人自動運転車における運行時に取得するデータの活用と安全性評価」について
 - ・無人自動運転の評価の今後の見通しについて、委員から質問があり、関係省庁から国際基準はこれまでも日本から提案してきており、将来的な提案につなげていきたいとの回答があった。
 - ・委員から「事業アウトカム達成に至るまでのロードマップ」をより具体的に記載するべきであるとのコメントがあった。
- ②「E. ドローン等を活用した建築物の外壁の定期調査に係る技術開発」、「F. 高精度センサーを用いたエレベーターの定期検査に係る調査」について
 - ・委員からエレベーターセンサーについて、資料記載内容だけではどの程度高精度なのかが分かりにくいため、より具体的に記載をするべきとのコメントがあった。
 - ・委員から事業アウトカムについてより明確に記載するべきとのコメントがあった。

(5) 閉会

各委員において、「資料5 評価コメント票」に本事業の評価コメントを記入の上、期限までに提出することを確認した。また、事務局から、第1回評価検討会で評価対象とならなかった分野は第2回評価検討会で扱うこと、第3回評価検討会の開催方法について説明した。

以上

お問合せ先

経済産業政策局 産業創造課 新規事業創造推進室

電話：03-3501-1569

担当：中村、大坪